

株主の皆様へ

代表取締役社長

鵜澤 泰功

UZAWA YASUNORI



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第15期定時株主総会を2020年6月26日（金曜日）に開催いたしますので、ここに招集ご通知をお届けいたします。

第15期の連結業績について

営業収益71.1億円、営業利益14.8億円と過去最高の業績を達成いたしました。

当期は、営業利益が対前期比で3.2億円増、27.9%増と大きく増加し、営業利益率も2.3ポイント上昇、過去最高となる増収増益を達成いたしました。これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

特に好調だったのが、フラット35を主力商品とする住宅金融事業です。融資実行件数を大きく伸ば

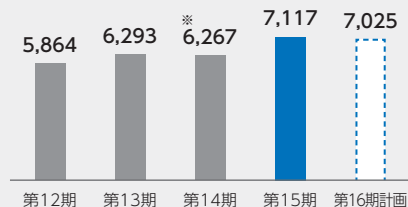
営業収益 (連結)

第15期 71.1億円

対前期比 +13.6%

※ 第13期から第14期の減少は、会計基準の変更によるものであり、実質は増収

(百万円)

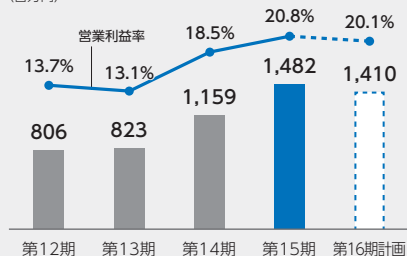


営業利益 (連結)

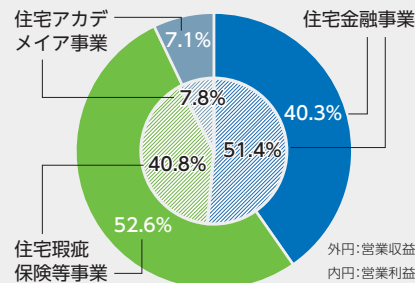
第15期 14.8億円

対前期比 +27.9%

(百万円)



第15期 セグメント構成比



外円:営業収益
内円:営業利益

し、他事業を牽引いたしました。その他、全事業において増益となり、利益に貢献いたしました。

成長戦略について

クラウドを戦略の中心に据え、住宅会社の支援を強化し、差別化を推進します。

世界はいま、コロナ・ショックのただ中にあり、定量的な数値目標に関しては先を見通すことが非常に難しい状況です。先の5月8日発表の「中期経営計画2023/3期」においては、2023年3月期までに連結で営業収益90億円、営業利益20億円を目指す計画といたしましたが、あくまで暫定であり、今後の状況に応じて見直しを行っていく予定です。

ただ、成長戦略の定性的な考え方は変わりません。従前より、当社グループでは住宅金融とクラウド

成長戦略

Oneハウス Multiファイナンス(金融)&インシュアランス(保険)&ワランティ(保証)

住宅ローン・保険・保証はコモディティ商品。しかし組合せと融合で他に負けない差別化と高収益が実現する

STEP① ドアノック商品 (強制保険の強み)

住宅かし保険 (+地盤保証・完成保証)

+

STEP② 深掘り・囲い込み商品

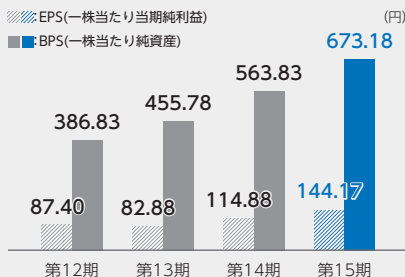
住宅事業管理クラウド (+住宅保証サービス)

+

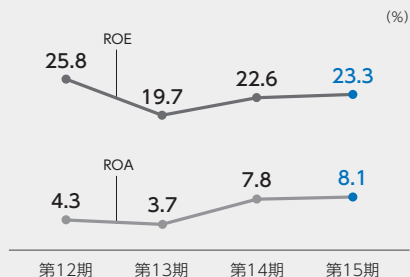
STEP③ (ありふれた) 高収益商品

住宅ローン・つなぎローン 産業金融

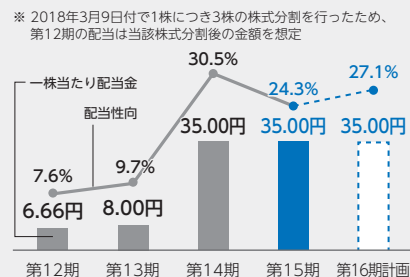
EPS (一株当たり当期純利益) BPS (一株当たり純資産)



ROE (自己資本当期純利益率) ROA (総資産経常利益率)



一株当たり配当金 配当性向



※ 2018年3月9日付で1株につき3株の株式分割を行ったため、第12期の配当は当該株式分割後の金額を想定

ドの融合による価値創出に取り組んで参りました。コロナ・ショックにより、住宅産業では「デジタル化への遅れ」という課題が以前にも増して顕在化しており、テレワーク対応を発端にクラウドに対するニーズも急速に高まっています。

当社グループでは先んじて、昨年夏より住宅事業一気通貫型のクラウドサービス『助っ人クラウド』を住宅会社に無償で提供し、差別化を推進しております。今後、クラウドを活用した住宅会社の経営合理化支援に更に力を入れ、「住宅産業の課題を解決する」という社会的使命を果たして参る所存です。

当社グループとしても『助っ人クラウド』を通じて、住宅1棟に対して様々な商品を重層的に提供する仕組みを構築し、更なる成長を目指します。

株主様へのメッセージ

モーゲージバンクから「ビルダーズバンク」へと、進化を続けて参ります。



当社グループは創業以来、時代の変化に先駆けて事業領域を拡大し、業容を進化させ続けてきました。世界が大きく変わりつつある今だからこそ、住宅会社の助っ人となる「ビルダーズバンク」として、企業価値をより一層鮮明にし、グループ総力戦で取り組む時だと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

IRサイトで、個人投資家の皆様に向けたコンテンツを拡充しています

当社グループの事業や特徴について、さらにお知りになりたい方は、ぜひIRサイトをご覧ください。「3分でわかるMSJグループ」などのコンテンツを拡充しています。

日本モーゲージ IR 検索

<https://www.msj-group.jp/ir/>

パソコンや
スマートフォンから

